＊楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

2017年度　奨学生申請書

【大　学　院　学　生　用】(　　年　　月　　日現在)

（公財）加藤朝雄国際奨学財団
理事長　　加　藤　梅　子　殿

奨学金の支給を受けたく、申し込みます。
また、申請書及びその他提出書類一式に記載された事項に虚偽のないことをここに誓います。

写　真
(5×4cm)
＊上半身のみで半年以内に撮影したもの
＊裏面に姓名･学校名を記入、添付のこと

氏名：　　サインまたは印鑑：

フリガナ								
姓　名								
英文名	Family Name　　，　　First Name							
生年月日	19　年　月　日生	年齢 2017.4.1現在	満　才	性別	男・女	結婚	未婚・既婚 その他（　）	
フリガナ								
現住所	〒（　－　）　県　府　市	電話（　）　－						
2017年4月以降在籍大学院	大学大学院課程	大学大学院　研究科　課程　年次						
	専攻	所属講座名・研究室（ゼミナール）名等						
	入学年月日	年　月　日　入学						
	指導教員	役職名 (フリガナ) 姓　名						
母国または日本以外の連絡先	英文表記							
	氏名（姓、名の順で記入のこと）	本人との関係						
	英文表記							
	住所	〒（　）　電話（　）　－ （国名　）（　）						

＊楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

履　歴　書

（　　年　　月　　日現在）

（フリガナ）
姓　　名

学歴等

1. 下記の学校区分に該当しない場合は、別紙または、“赤”で訂正、記入して提出すること。
2. 該当がない箇所については「なし」と記入し、空白にしないこと。
3. 学歴等欄にあてはまらない期間は別紙（A4・書式自由）に詳細を記入し、空白期間のないようにすること。

学校区分	学校名（所在地）	正規年数	入学・卒業年月	専攻学科
高校（母国・日本）該当するものに○印	（　　）	年	入学　年　月 卒業　年　月	
大学（母国）	（　　）	年	入学　年　月 卒業　年　月	
大学院修士課程[博士前期課程]（母国）	（　　）	年	入学　年　月 卒業　年　月	
大学院博士課程[博士後期課程]（母国）	（　　）	年	入学　年　月 卒業　年　月	
日本語学習校（母国・日本）該当するものに○印	（　　）	年	入学　年　月 卒業　年　月	
その他専門学校等	（　　）	年	入学　年　月 卒業　年　月	
大学（日本）	（　　）	年	入学　年　月 卒業　年　月	
大学院修士課程[博士前期課程]（日本）	（　　）	年	入学　年　月 卒業　年　月	
大学院（2017年4月以降在籍大学院）	大学大学院 研究科 課程　年次	年	入学　年　月 卒業見込　年　月	

兵役	過去	年　月　日から　年　月　日まで
	将来の予定	年　月　日から　年　月　日まで／不明
その他受賞歴等		

職歴

（該当がない箇所については「なし」と記入し、空白にしないこと。また、欄が足りない場合は別紙（A4・書式自由）に記入のこと）

勤務先名（所在地）	職務内容（役職名）	勤務期間
（　　）	（　　）	年　月より 年　月まで
（　　）	（　　）	年　月より 年　月まで

＊楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

日本語の習得

(　　年　　月　　日現在)

(フリガナ)
姓　　名

日本語の習得について　(内容を出来るだけ詳しく記入すること。)

1. 日本語を習得しようとした動機について

2. 日本語をいつ、どこで、どのような形で学習したかを記入

学校、会社、独学等	期　　間	学　習　内　容

上記表以外で記入したい事項

3. 日本語能力試験　(1. 該当するものに○印を付すこと。 2. 「有」に○印を付けた場合は、その内容を記入すること。)

日本語能力試験の受験　有　・　無　　取得した日本語能力試験のレベル (　　)

＊楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

身　上　書　（1）

（　　年　　月　　日現在）

（フリガナ）
姓　　名

出身国住所　　電話（　　）　　－

家族状況

1. 日本あるいは母国において、本人と同居していない場合（家計を異にする場合）も記入すること。
   また本人と日本で同居している家族がいる場合は、※同居欄に○印を付すこと。
2. 続柄欄の兄弟姉妹は、該当するものに○印を付すこと。
3. 勤務先または学校名欄で、無職・退職・主婦の場合は、該当するものを記入すること。
4. 記入欄が足りない場合や下記の区分に該当しない場合は、別紙または、“赤”で訂正、記入して提出すること。

家族姓名 姓、名の順で記入のこと	続　柄	年　齢	現　住　所	勤務先または学校名	※同居
	父				有・無
	母				有・無
	兄　弟				有・無
	姉　妹				有・無
	配偶者				有・無
	子				有・無
					有・無
					有・無

奨学金受給実績

1. 2017年4月以前の卒業大学及び大学大学院・在籍大学大学院に在学期間中、受給した奨学金を最新のものから2つ記入すること。
2. 該当がない箇所については「なし」と記入し、空白にしないこと。

奨学金の名称	給　付　金　額	受　給　期　間
	年額　　円	年　月 ～　　年　月
	年額　　円	年　月 ～　　年　月

奨学金受給予定

1. 2017年4月以降に受給が決定している奨学金を記入すること。
2. 該当がない箇所については「なし」と記入し、空白にしないこと。

奨学金の名称	給　付　金　額	受　給　期　間
	年額　　円	年　月 ～　　年　月

現在申請中の奨学金

1. 当財団以外で、受給期間が2017年4月以降の奨学金を記入すること。
2. 該当がない箇所については「なし」と記入し、空白にしないこと。

奨学金の名称	給　付　金　額	受　給　期　間
	年額　　円	年　月 ～　　年　月
奨　学　金　採　用　発　表　日		年　月　日

＊楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

身　上　書　（２）

（　　年　　月　　日現在）

（フリガナ）
姓　　名

経済状況

1. 2016年度の経済状況について、月額にて記入すること。
2. 各月または臨時的な状況等により１ヶ月の金額に変動がある場合は、平均した月額を記入すること。
3. 収入・支出・差額欄とも必ず記入すること。なお該当がない箇所については「0」、または「なし」と記入し、空白にしないこと。

毎月の平均収入額

（単位：円）

(1) 本国等からの仕送り		仕送り者の氏名： 続柄：
(2) アルバイト		職務内容： 期間（週２回等）：
(3) 他の奨学金		奨学金の名称： 受給期間：　　年　　月～　　年　　月
(4) その他		内容（保証人などからの援助、配偶者からの収入等）：
収入月額合計（A）		

毎月の平均支出額

(1) 住居費			住居区分（当てはまるものに○印） 寮・アパート・持ち家・その他（　　）
(2) 授業料（＋諸経費） １ヶ月当たりの平均授業料 (実際に支払う年間費用÷12)			年間費用全額　　円 授業料免除額　　円 実際に支払う年間費用　　円
(3) 生活費	食費		
	水道・光熱費		
	電話代		
	交通費		
	書籍・学用品費		
	保険料		
	その他生活費		内訳：
	その他生活費		内訳：
	その他生活費		内訳：
支出月額合計（B）			

差　　額（A－B）	

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【自己アピール】

学習や日常生活などを通して、あなたが当財団に対してアピールできる点「日本留学の目的」、「大学院修了後に希望する進路」、「将来、日本と母国の懸け橋になるためのあなたの考える役割」を、具体的に書いてください。

（用紙が不足する場合は、本紙をコピーしてください）

「日本留学の目的」

「大学院修了後に希望する進路」

氏 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【自己アピール】

学習や日常生活などを通して、あなたが当財団に対してアピールできる点「日本留学の目的」、「大学院修了後に希望する進路」、「将来、日本と母国の懸け橋になるためのあなたの考える役割」を、具体的に書いてください。

（用紙が不足する場合は、本紙をコピーしてください）

「将来、日本と母国の懸け橋になるためのあなたの考える役割」

氏 名

【研究テーマについて】

研究テーマ及び研究計画・内容を一般の人にもわかるように書いてください。
※制限字数：1枚あたり600字まで、制限枚数：2枚まで
（用紙が不足する場合は、本紙をコピーしてください）

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

【今までの主な研究成果（公表論文または学会報告等）】

研究テーマ欄には、論文のタイトル及び、論文の概要を2～3行で説明してください。
なお、論文は添付の必要はありません。※用紙が不足する場合は、本紙をコピーしてください。

公表年月日	使用言語	研究テーマ	公表雑誌名または公表学会名等

氏 名

【芸術系専攻等の方で、グループで一つの研究をしている場合】
全体の中での申請者の役割（内容）がわかるように説明してください。

【大学院学生用】

推　　薦　　状

公益財団法人加藤朝雄国際奨学財団
理 事 長 加 藤　　梅 子 殿

留 学 生 氏 名

推薦者（指導教員・学科主任等）

所 属 機 関　　職　名

氏名（自筆）　　印